



広報

おんな

平成14年 (No.258) 恩納村 総務課 TEL(098)966-1200



おめでとう！全国制覇！ 恩納中学校男子 ソフトボール部

- ◆600名の村民が参加して要請決議を採択
- ◆青年会が勇壮なエイサーを披露
- ◆全国制覇のメダルを胸に優勝報告



青と緑の豊かな活力ある村

村のひと (7月末日)

男	5,043人	(+3)
女	4,865人	(+10)
計	9,908人	(+13)
世帯数	3,618世帯	(+9)



恩納村の愛唱歌をつくってみませんか。
恩納村「島うた」公募

皆様からの応募をお待ちしています！！



美しい自然と文化・歴史に満ちた恩納村を広く内外にアピールするとともに、村民ひとりひとりが「美ら村・恩納村」に親しみと誇りがもてるよう、恩納村の愛唱歌として「島うた」を募集します。美しい詩と心地よい曲にのせて恩納村の魅力をさらに広く伝えていきます。

<応募作品>

【作詞部門】

- ◆作品は400字詰め原稿用紙に黒または青インクで縦書きにし、最初にタイトルを記入して下さい。
 - ◆歌詞は4番以上8番までとし、恩納村の情景(自然、歴史、文化等)を歌い込んだ未発表の作品に限ります。漢字にはふりがなをふって下さい。
 - ◆原稿用紙の裏に応募者の住所・氏名・年齢・電話番号・職業を明記し、一封筒につき一作品を入れてご応募下さい。(1人2点以上の応募も可)
 - ◆未発表の作品に限ります。
- ※歌詞の決定にあたっては、曲と編集作業上、1部変更することがありますのでご了承下さい。

【作曲部門】

- ◆作曲部門は作詞決定後に募集告知します。

<応募資格>

恩納村に縁・ゆかり・興味のある方ならどなたでも。

<応募先>

恩納村企画課 / 〒904-0492 恩納村字恩納2451番地
電話098-966-1201

<応募期間>

【作詞部門】2002年 9月17日～11月15日(郵送は当日消印有効)

【作曲部門】2003年 2月 3日～ 3月31日(郵送は当日消印有効)

<発表>

- ・作詞部門の入賞者の発表は、2003年1月、沖縄タイムス紙面、広報誌「広報おんな」紙上で行います。
- ・作曲部門の入賞者の発表は、2003年5月、沖縄タイムス紙面、広報誌「広報おんな」紙上で行います。
- ・2003年7月(予定)「うんなまつり」会場にて受賞作品の完成披露会と表彰式を行います。

<賞>

【作詞部門】入賞-3点以内

・賞与-各賞金20万円+副賞

【作曲部門】入賞-3点以内

・賞与-各賞金20万円+副賞

主催:恩納村 共催:沖縄タイムス社

後援:沖縄県、琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、FM沖縄

恩納村商工会、恩納村漁業協同組合、恩納村文化協会、沖縄県農協恩納支店



沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しよう

*** 沖縄新大学院大学の概要 ***

いつごろ開学するの？

世界最高水準の学術拠点づくりを目指す沖縄新大学院大学は国が設置し民間が運営することを予定している。西暦2005年(平成17年)9月に研究機関を開設し2007年(平成19年)9月開学を目標としています。

どれだけの方々が研究し学ぶのですか？

教授陣200人、技術・事務職員300名、学生500人を想定し、建設費は約800億円で年間経費200億円が見込まれています。

大学院の学長と教授陣、学ぶ学生は？

学長については、ノーベル賞受賞者で経営能力のある人を条件に選定し、教授陣も国内外の優秀な人材が採用されます。また、琉球大学との共同研究や県内の大学との連携や海外の優秀な大学や研究機関とも連携を図り、講義を全部英語で行い、半分以上は外国の教授陣や学生を入れて国際的な大学院を目指しています。

どのような場所に設置されますか？

沖縄新大学院大学の設置場所は、研究・教育分野に配慮した自然環境に優れた場所を選定し、建設推進のため地元の協力体制が確立されていることと、併せて建設用地の確保が容易であることが条件です。

研究されるものはどんなもの？

沖縄の特殊事情を総合的に考えた、自然科学系の世界最高水準の大学院を目指し、生物学、物理学、化学、計算科学、工学等生命システムを主体にした研究開発を行います。

これまでの大学とどこが違うの？

今までの日本の大学のルールからはずれた大学院大学を目指し、研究者や教授らが自由に海外講演や学会、共同研究などに参加できる柔軟なシステムを取り入れた大学院となります。

大学院の将来的な運営費はどこから？

沖縄新大学院大学の将来的な研究資金等の運営費は、企業との連携を図ることを目的にしているため、国や学生と併せて企業からの資金援助ができる方式とされます。

太平洋地域との連携は？

大学院大学の設置とアメリカ、シンガポール等からの直行便の新たな国際路線開設をセットにし、アジア・太平洋地域と連携できる沖縄経済の発展を目指しています。

誘致することによる経済効果は？

沖縄新大学院大学は、企業との連携を図ることを目的に設置するため、大学院の周辺には企業が進出し、雇用の創出や新たな地域産業が生まれて、地域経済への波及効果は計り知れないものがある。

600名の村民が参加して要請決議を採択

沖縄新大学院大学誘致恩納村総決起大会



ガンバロー三唱で大学院大学を願う

西暦二〇〇七年九月に開学を目標に、世界最高水準の学術拠点づくりを目指す沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しようとして九月十日、村コミュニティセンターで六百名の村民が参加して恩納村総決起大会が開催されました。

主催者を代表して恩納村実務委員会長の大城村長は、「将来の恩納村の振興発展のためにも村民、関係者が心を一つにして、誘致するまでご協力をお願い致します。」とあいさつがありました。

また、内閣総理大臣などへ宛てた要請決議と大会スローガンが会場からの盛大な拍手で採択され、誘致に向けた要請活動を行います。

昨年六月に同大学院大学の沖縄への設置を発表して以来、県内の二十六市町村と十五団体が各地域で誘致に向けた取組が行われており、本村ではその恵まれた自然環境と村内施設との連携を図りつつ、また近隣の施設の活用も視野に入れ誘致活動にこれからはますます力を入れていきます。



▲誘致まで協力をお願いしますと大城村長



▲会場には多くの村長が訪れ開催されました

〈大会スローガン〉

- 一、世界最高水準の研究・教育機関の集積や地域経済の活性化を図る沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しよう。
- 一、「青と緑の躍動する村」づくりのため、自然科学系の沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しよう。
- 一、沖縄とアジア・太平洋地域の先端頭脳集積地域として発展させ、産業界との連携を図る沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しよう。
- 一、恩納村の恵まれた自然環境を活用し、国際性に富んだ人材の育成を目指す沖縄新大学院大学を恩納村に誘致しよう。

～ 第4回恩納村海外移住者子弟研修生歓迎式 ～

ようこそ恩納村へ
ポリヴィア国から2名研修生が来村



▲研修の成功を願ってVサイン
写真左が眞栄城さん、右が佐渡山安幸さん



▲南恩納区からカンカラ三線がプレゼント

今回で四回目の受入となる村出身者海外移住者子弟研修生二名の歓迎会が八月十三日、村庁舎二階会議室で開催されました。

第四回海外移住者子弟研修生としてポリヴィア国から恩納村に来たのは、父親が南恩納区出身の佐渡山安幸（二十歳）さんと母親が南恩納出身のベレス・眞栄城・パネッサ（十八歳）さんの二名で、歓迎式で大城村長は、「沖縄の文化も吸収しながら研修を深めていただき、健康に注意しながら頑張ってください。」と激励のあいさつがありました。

研修生の佐渡山さんは、「ここでは農業の勉強を行ってポリヴィアで挑戦したい。」とあいさつがあり、パネッサさんからは、「私は、日本語とコンピュータの勉強を頑張りたいと思います。みなさんにお世話になります。」とあいさつがありました。

歓迎式の他余興では、親戚による舞踊や南恩納子ども会のエイサー等が会場で披露され二人を心から歓迎しました。



これまでの研修期間は三ヶ月で実施されておりましたが、今回は期間を一ヶ月延長し、十二月十六日までの四ヶ月間日本語習得の為に研修と農業・コンピュータの研修と他、村民との交流を深めて行く予定です。

村では、今回を含めて、ブラジル・ポリヴィア・アルゼンチンの三カ国から今回を含めて五名の海外移住者子弟の研修生の受入を行っています。

全国制覇のメダルを胸に優勝報告
恩納中学校男子ソフトボール部



▲大浜キャプテン（中央）による優勝報告

恩納村では、昨年の安富祖中学校男子ソフトボール部の同大会優勝に続き恩納村内中学校の大会連覇の快挙となりました。

大阪府で開催された第二回全日本中学生男女中学校ソフトボール大会でチームワークで見事全国制覇を果たした、恩納中学校男子ソフトボール部が八月二十日、村役場を訪れ優勝の報告を行いました。

優勝報告で、同校ソフトボール部の大浜康之キャプテンは、「皆さんの応援があったから優勝することができました。来年もきつと後輩が頑張ってくれと思います。」と喜びと後輩達のこれからの活躍を期待する報告が行われました。

山内久司監督は、「これまでの試合でヒットのなかった一人の選手に皆でヒットを打たそうと決勝戦に望み、待望のヒットが出たときにチームが一つになったことを確信した。」とチームワークで勝ち取った優勝を選手達と共に喜んでいました。

行政事務の合理化を図るために 3課で機構改革を実施



異動職員に辞令を交付

恩納村役場では、行政事務の合理化を図るため建設課・企画課・経済観光課の三課で機構改革を行い、また新たに設立される県介護保険広域連合への職員派遣に伴って、九月二日、辞令交付を行い対象職員十三名に辞令が交付されました。

今回の機構改革では、建設課の計画管理係が管理係に、公共土木係が建設係に、企画課の基地政策推進係が基地対策係に、経済観光課の観光水産係が観光商工係に、農林土木係が農林水産係のそれぞれ変更になりました。

【課長等の部】

建設課
参事兼管理係長

石川 徹雄
(参事兼計画管理係長)

【係長等の部】

保健福祉課
福祉係長

池原 豊三
(開発係長)

企画課
基地対策係長

長浜 孝
(基地政策推進係長)

建設課
建設係長

比嘉 正彦
(公共土木係長)

経済観光課
観光商工係長

平良 幸夫
(観光水産係長)

農林水産係長
佐渡山 安正
(農林土木係長)

企画課
開発係長

崎浜 義紀
(年金係長)

学校教育課
施設係長

當山 秀幸
(福祉係長)

住民課
年金係長

伊波 栄昌
(施設係長)

【主査・主任・主事等の部】

下水道室
下水道室主査

金城 徳夫
(企画課主査)

建設課
建設課主査

大城 学
(企画課主査)

建設課主事

大城 保洋
(企画課主事)

沖縄県介護保険広域連合(派遣)

渡口 達也
(保健福祉課主事)



▲写真中央が仲本美保子さん

村婦人会主催により八月五日開催された婦人の主張大会で最優秀賞を獲得し八月三十一日嘉手納町中公民館で開催された中頭地区大会で「ナイチャー嫁の私と婦人会活動」と題して主張発表を行った山田区の仲本美保子さんが見事最優秀賞に輝きました。

ナイチャー嫁の私と婦人会活動
 恩納村婦人会
 仲本美保子

沖繩が本土復帰した三年後の一九七五年、私は神奈川県から嫁いできたナイチャー嫁です。今では、ウチナー標準語を使い、いろいろな地域活動などに参加する毎日を送っています。周囲からもウチナーンチュと間違えられるほどの島ナイチャーですが、この様になるまでには多くの苦難がありました。

四人兄妹で女一人だった私が海を隔てた遠い沖繩に嫁ぐことに対し、母と長兄は「生活習慣が違いすぎる」と猛反対でした。

だろうと会釈をするだけでした。

当時は沖繩の食べ物も苦手です。特にゴーヤー、ナーペーラーなどは食べられませんでした。ゴーヤーは苦いだけ、ナーペーラーは食べ物ではなく身体を洗うものだと思っていました。今ではゴーヤーもナーペーラーも、そしてヒージャー汁も大好物になりました。すっかり沖繩に染まりきった島ナイチャーとなりました。しかし一時はカルチャーショックノイローゼになり、友達もできずに、帰りたい、帰りたいと何度も涙を流しました。母には「反対しても行くんだからだめだと言って帰ってこないで、沖繩の青い海に飛び込みなさい。」と言われたのです。私を心配しての精一杯の愛情の言葉だったと思います。主人は「帰りたいと思ったら、帰っていいよ。」と言うのですが、母や兄たちの反対を押しきって沖繩にきた以上弱音を吐いて帰るわけにはいかないと強く決心しました。「結婚式はしようがないか

仲本美保子(山田)さんが最優秀賞に輝く

ら行くけど、あとは行かないからね。」と厳しく言った母も、私が長女を出産した時には喜んで来て、その後も何度も来てくれたのです。そんな厳しくも優しい母は、ことわざを用いながらいろいろなことを教えてくれました。「任めば都」、「遠くの親戚より近くの他人」私は母の教えを信じ、その言葉の通りになるように努力しました。地元の人との関わりを深くするには、まずは地元の事をよく知ることだと思ひ沖繩の方言、歴史、文化に関する多くの書物を読みました。今では沖繩に関する書物が本棚に並んでいます。しかし、私は地元の人との関わりを深くするもので、本を読むだけでは学ぶことのできなかつたことに出会いました。それが婦人会活動でした。

私が婦人会活動に参加するようになったのは、三番目に生まれた長男が三才の時でした。地域の班の役員になり、子供を連れて行ける場所には子供と一緒に参加したものです。その頃は

環境週間、清掃検査というものがあり、それで各家庭を回り、知らなかった人の顔、名前、家を覚えられました。翌年は海邦国体だったので、花いっぱい運動、デイゴの花のコーサージュ作りなど、婦人会活動も多くの協力のもと盛りあがっていました。

三六才で地域の会計に選ばれたのですが、私に出来るのかと、とても不安でした。しかし、子供が就学すると地域との関わりが必要となるので、これもいい機会だと引き受けることになりました。三年後には副会長にまで選出されました。当時、副会長は生活改善グループのグループ長を兼ねていましたので、その頃から今の農山漁村生活研究会に関わっています。翌年には何もわからない私が村の生活改善グループの部長となったのです。地域の婦人会も生活改善グループも前役員の協力があって、このような活動に不慣れだった私も楽しみながら役員を終えることができました。

地域の副会長を終えた四年

後、会則にある休みが開けるのを待っていたかのように地域の会長に選ばれました。「他に良い人材がいるのにどうして私が、都合よく押しつけられているのではないだろうか。」とさえ疑ったものです。この頃になると主人も呆れ顔、私も会長など出来ないと思いましたが、出来るから出来ないからではなく、やらなくてはならない状況でした。

今では子供たちも成長し、自分自身の時間も増えたので、農山漁村生活研究会の会員、更正保護婦人会、ボランティアグループ、と仕事をしながらの忙しい毎日を送っています。そして今年の四月には村婦人会の校区会長という大役を引き受けることになりました。「家にかからん」と言う夫の言葉は聞かなくなりして、仕事と婦人会活動、そして活動を通して出会えた友達との楽しいゆんたくと忙しくも充実した日々を過ごしています。

最近では全国的にも地域との関わりが薄れ、人々が協力しあ

うことが少なくなってきました。私の住む地域も例外ではありません。以前に比べると婦人会活動も活発ではなくなり、活動に参加する人も少なくなってきましたように思えます。仕事が忙しい、子供が小さい、自分には出来ない、などを理由に活動にもっと活発にし、より良い暮らしへと発展させていくことが出来るのではないのでしょうか。ナイチャー嫁の私でも出来たことですから、地元のみなさんにはもっと力があるはずですよ。その力を婦人会活動に活かし、これからも楽しく盛り上げていきましょう。



各字に残るエイサーを村民に披露し、地域おこしと組織強化に役立てていこうと、村青年団協議会（南風原秀人会長）は夏休み最後の土曜日となった八月三十一日、村青年エイサーまつりを村コミュニティ広場で開催しました。

まつりには、恩納、喜瀬武原、仲泊、瀬良垣の四青年会と隣りの金武町から友情出演で中川、金武の二青年会の出演もあり、六団体の勇壮なエイサーが会場で披露されました。

主催者を代表して同まつり実行委員会の南風原会長は、「青年達が三線のように真っ直ぐ、指笛のように協調し、太鼓のように飛躍するようお願いしたい。」とあいさつがあり、また、来賓を代表してあいさつした大城村長は、「地域青年会が真剣に伝統あるエイサーに取り組んでいることは芸能の発展につながる。」と青年を激励しました。

青年会が勇壮なエイサーを披露



エイサー演舞では、九月一日に那覇市内で開催された。青年ふるさとエイサーまつりにも参加した恩納青年会の華麗なパーランクーの演舞からはじまり、会場に訪れた村民や観光客らは我が村の芸能を心行くまで楽しみ、フィナーレでは出演者、観客が参加してのカーチャシーで来年の再開を願い閉会しました。

18名の当選議員に当選証書を附与

九月三日に告示され、八日に投票そして即日開票された村議会議員選挙で十八名の当選議員が決まりました。

投票率は、前回の選挙を下回りはしたものの八二・九七%と高い投票率で有権者七四八八人の内六二二三人が投票しました。即日行われた開票の結果、現職十人・新人八人の議員が決定し、当選者十八人に対して翌日九月九日に村役場で選挙管理委員会の山城興善委員長から当選証書が附与されました。



- | | | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | |
| 植田 良介 (新)
(恩納) | 当真 嗣善 (現)
(太田) | 當山 君子 (新)
(安富祖) | 山城 郁夫 (新)
(恩納) | 大城 勝泰 (現)
(仲泊) | 仲田 豊 (新)
(名嘉真) |
| | | | | | |
| 糸満 盛和 (新)
(南恩納) | 渡久地 巖 (現)
(名嘉真) | 山内 鈴子 (現)
(仲泊) | 山城 良一 (現)
(前兼久) | 我那覇宗信 (新)
(恩納) | 屋良 朝信 (現)
(山田) |
| | | | | | |
| 喜納 正誠 (現)
(仲泊) | 外間 清志 (現)
(名嘉真) | 吉山盛次郎 (現)
(仲泊) | 新門 信雄 (現)
(山田) | 親泊 一元 (新)
(瀬良垣) | 仲宗根 学 (新)
(真栄田) |

お化け屋敷で夏の暑さを吹き飛ばす



夏の暑さを吹き飛ばし、元気いっぱい夏を楽しむとうと山田保育所(大出所長)では、毎年恒例のお化け屋敷が八月十五日、同保育所で開催され八十名の園児が勇気をだして挑戦しました。

お化け屋敷では、夏休み期間中ということもあって小学生もお化け役で協力し園児を驚かせようと頑張っていました。

子ども達は入口に入る前から泣いて先生に手を引かれる子や友達同士しっかり手を握っている子など様々で、最後まで頑張った子どもにも魔女役の先生からキャンディーをもらってにっこり笑っていました。

園児らは、お化けの怖さもはねのけ一回り成長して今年も夏を元気に乗り切っていくことでしょう。

★行政相談週間始まる★

10月21日(月)～27日(日)……

医療保険・年金・老人保健・福祉
雇用保険・交通安全・恩給・公害
戸籍・道路環境衛生・登記など

◎行政相談員が相談に応じています。

相談は**無料・秘密厳守**です。

行政相談員は小山民子さんです。

(総務大臣委嘱)

連絡先：098-966-8647 (自宅)

◎国民と行政を結ぶホットライン

総務省沖縄行政評価事務所の

行政苦情110番

電話 098-867-1100

(17時より留守番電話)



沖縄自動車保険 請求相談センター

専門の相談員がご相談に応じます。
損害保険一般のご相談も受付します。

(社)日本損害保険協会 沖縄支部
<http://www.sonpo.or.jp>

Tel. 098-868-8950 直通

相談 日/月曜日～金曜日(祝日を除く)9:00～12:00・13:00～17:00
弁護士相談日/毎月第3金曜日 13:00～16:00(予約制・相談無料・要面談)

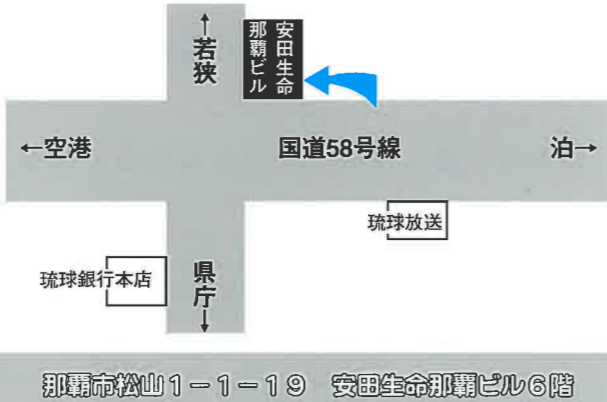
沖縄キリスト教短期大学

2003年度 社会人学生募集

1. 特別推薦入試A日程
(21歳以上、自己推薦可能)
1) 募集学科 英語科・保育科・(若干名)
2) 4月入学 出願期間 10月31日(木)
～11月6日(水)
試験日 11月13日(水)
2. 社会人のためのAO型入試(4月入学)
1) 随時、面談と書類審査によって選抜する
入試です。
2) 面談申込期間:2003年3月6日(木)
まで
3. 詳しいことにつきましては、入試課へお問
合ください。

沖縄キリスト教短期大学入試課

TEL (098) 945-9782



秋の全国火災予防運動 平成14年11月9日～11月15日 金武地区消防本部

統一標語 **「消す心 置いてください 火のそばに」**

重点項目 住宅防火対策・放火火災予防対策・消火器事故防止対策

◎住宅火災を防止するため、次の3つの習慣を身に付けましょう。

1. 寝たばこは、絶対やめる。
2. ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
3. ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



◎平成9年以降火災出火原因のトップは「放火」です。「放火の疑い」を合わせると、全火災の20%以上を占めます。家の周りにゴミや燃えやすい物など、可燃物を放置しないようにして放火されにくい環境づくりを心掛けましょう。

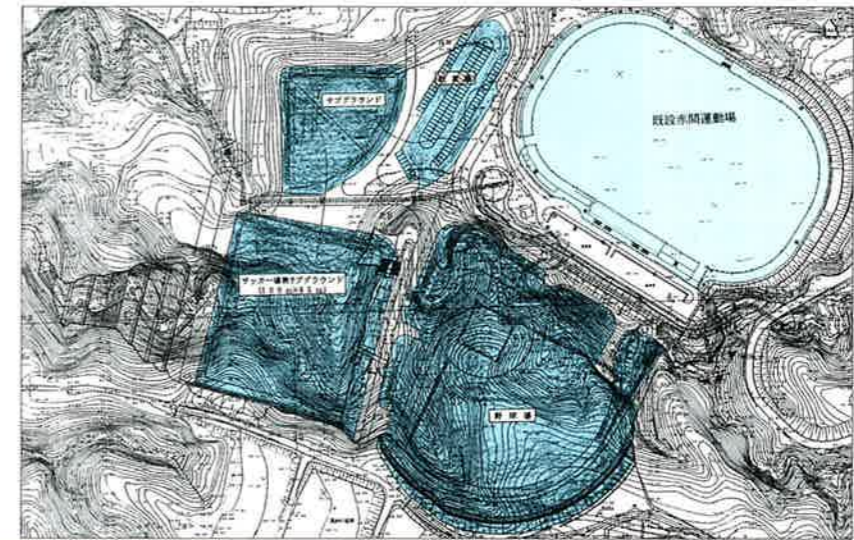
◎昨年、老朽化した消火器の破裂事故による人身事故が、相次いで発生しました。皆さんのまわりにも、さび付いたり変形したりした古い消火器がありましたら、最寄りの販売、点検業者に引き取ってもらい、新しい消火器を設置するようにしてください。

スポーツ振興と余暇活動の充実 赤間運動場(野球場)整備事業 平成13年度～平成16年度

現在ある村立赤間運動場に隣接して、野球場及びサブグラウンドを整備し、地域住民のスポーツの振興を通じた余暇活動の充実、健康増進を図り、同地域の定住人口増加を図る目的で平成13年度から4年間かけて赤間運動場(野球場)整備事業を実施しております。

整備終了後は、地域住民のスポーツ施設としてまた、社会人野球大会や高校野球大会会場及び野球の合宿等に使用させ、宿泊客の増加による宿泊産業における雇用拡大、地域産業の振興を目的として事業を進めております。

配置計画平面図



第18回 やんばるの産業まつり 平成14年10月19日(土)～20日(日)の2日間 名護市民会館

やんばるの資源を見直し、やんばるの恵みを自らの力で活かしていこうとやんばるの産業の現状と将来について広く内外へ紹介するとともに地域活性化を図ることを目的としています。

まつり開催には、北部市町村をはじめ、国、県の出先機関、北部農林高校、北部工業高校、県立農業大学校、それに経済団体等の積極的な参加協力があります。

- 農林水産部会では、やんばるの自然の恵みから受ける素材を活かした食・住・遊をパネル、写真等で紹介します。
- 商工会部会では、屋内の土木建築展をはじめ建設関連業界の参加と国、県の行政機関の積極的な協力を得て、やんばるの将来像をパネル、写真で紹介いたします。
- 観光物産部会では、北部市町村の物産の展示、即売と観光展、観光名所案内による観光誘客、やんばるの産品の資質の向上、それに生産及び販路の拡大を促進させるため、推奨品の指定を行います。
- イベント部会では、屋外の特設ステージにおいて、変わり行く時代の中で受け継がれてゆく伝統文化を再認識するとともに、その良さを改めて確認する。また、若者によるロック、ポップスの競演等、多彩な音楽の音色が鳴り響き、老若男女、共に主役となり、やんばるの人々の活力を結集して盛り上げていきます。

やんばるの産業振興と発展を願い、多数の方々がお来場して頂きますよう、ご案内いたします。